

れんげい



もくじ

防災月間・管内個人情報等公開請求	2
むらまち情報〈和束町〉	3
むらまち情報〈南山城町〉	6
むらまち情報〈笠置村〉	8
きょういく	10
地域情報	14

第87号
2013.6

「新茶もむ手に力がこもる 初市は昨年より6日早く」



丹精込めて製造される手もみ茶（和束茶手揉技術保存会）

春先の気候が温暖で新芽の生育が早かったことから、昨年より6日早い4月24日に開かれた平成25年度産初市。

この初市には83点、799.1kgが出品されましたが、和束町産は75点、755.2kgで全体の9割以上を占めていました。

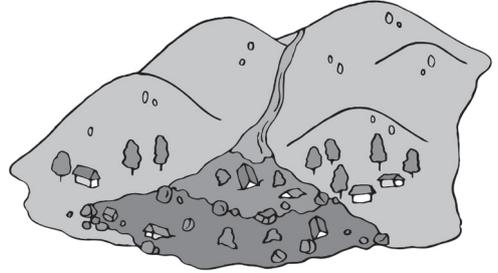
平均単価は1kgあたり13,703円、最高は14万40円で落札された和束産煎茶でした。

6月は土砂災害防止月間です。

今年もいよいよ雨の多い季節を迎えます。近年では紀伊半島豪雨をはじめ、昨年8月13日夜から14日にかけて近畿地方で発生した局地的豪雨では、宇治市内東部で甚大な被害が発生しました。

今まで経験したことのない大雨が突然やって来て、災害を引き起こします。6月の土砂災害防止月間を機に、ご家庭の防災対策を、もう一度確認し、大雨や台風に備えましょう！

台風や風水害は、ある程度発生を予測することができるので、危険が迫る前に次のことを準備しておきましょう。



- 台風などは、接近する前は最新の気象情報を確認しましょう。
- 雨などが強くなり出してからは屋外での作業はやめ、河川や用水路の見回りはやめましょう。
- 防災機関などからの避難準備情報に注意し、町村から避難勧告や避難指示があったら、すぐに動けるように準備して、すばやく避難しましょう。
- 避難の前には火の元を確認し、持物を最小限にして両手を自由に使えるようにしておきましょう。
- 家の周りを点検し強風などによって飛ばされる可能性があるものは室内に入れるかロープなどで固定しましょう。



平成24年度 情報公開及び個人情報保護制度の運用状況

相楽東部広域連合管内では情報公開条例により、公文書の公開等を行っています。また、個人情報保護条例により、本人の請求に応じて実施機関の保有する個人情報の開示や訂正等を行っています。平成24年度の各制度の運用状況は、次のとおりです。

1. 情報公開制度の運用		笠置町		和束町		南山城村		連合		
		個人	法人	個人	法人	個人	法人	個人	法人	
(1) 公文書の公開請求にかかるもの公開状況	請求件数	4	2	3			1		1	
	結果	全部公開	3	2	3					1
		一部公開	1					1		
		却下								
不服申し立てにかかるもの		申立件数								
2. 個人情報保護制度の運用										
(1) 保有個人情報の開示請求にかかるもの		請求件数							— —	
(2) 保有個人情報の訂正又は利用停止請求にかかるもの		請求件数							— —	
(3) 個人情報ファイル簿の数		保有簿冊数				144			5	
個人情報ファイル簿(100人以上の個人情報が記載された台帳または簿冊)は、実施機関がどのような個人情報を保有しているのか、またどのような目的に利用しているのかを明らかにするとともに、自己に関する個人情報の閲覧等を容易にするために作成し公表するものです。		新規簿冊				1			1	
		廃止簿冊				2			1	
		変更簿冊				3				4

* 制度運用については、現在お住まいの町村総務課までお問い合わせ下さい。

堀町政四期目に向けて



4月22日初登庁 職員から花束を受取る堀町長

町長就任のごあいさつ

先の和東町長選挙におきまして、多くの住民の皆様方のご支援・ご支持をいただき、引き続き町政を担当させていただくことになりました。

和東町にとって、これからの四期間は、持続可能な私たちのふるさとを、いかに実現するのかが大変重要な時であり、改めて身の引き締まる思いをしております。

「ずっと暮らしたい活力と交流の茶源郷 和東」の実現をめざして

これまでの三期十二年間をふりかえりますと、広く住民の皆様方のご協力をいただき、いち早く行政改革に着手するとともに、一方では京都府とも協調・連携しながら「茶」と「道」すなわち「茶道」を軸としたまちづくり、積極的に取り組み、さらに生業資産でもある本町の茶畑景観など、恵まれた農村空間を活かした交流とふれあいの郷づくりをはじめ、子育てや高齢者にもやさしいまちづくり等々、「ずっと暮らしたい活力と交流の茶源郷 和東」の実現をめざした事業を積極的に推進してきました。

「将来を見据えたまちづくりの推進を」

今後のまちづくりについては、私は将来の相楽地域全体を見据えた広域的な観点から、茶源郷を学研都市構想に関連づけて推進する必要があると考えています。

こうした考えに基づいて私は、今回の選挙において、次の基本姿勢を皆様方に訴えさせていただきました。

まず、国や京都府をはじめ、近隣各市町村とも協調・連携し、広域的な観点から将来を見据えたふるさとづくりの推進であります。

そして、和東町には豊かな自然と文化・歴史・さらには宇治茶の主産地としてお茶があります。こうした地域力を活かし、未来への希望と誇りのもてる「ふるさとづくり」を広く住民の皆様方と協働して推進していくことが、何よりも大切なことだと考えています。折しも本年は、南山城水害から六十周年にあたります。改めて、安心・安全なまちづくりの大切さを再認識させていただきました。

「犬打峠のトンネル化実現にむけて」

また、この節目の年に「府道宇治木屋線」犬打峠のトンネル化を求めた住民会議が発足、和東町のまちづくりにとっても大きな転換

期を迎えようとしています。このトンネル化が実現しますと、災害による孤立を防止するだけでなく、木津川右岸全域の発展に大いに期待がもたれるところでもあります。

さらに、京都府において提唱いただいている「宇治茶」の世界遺産への登録において「宇治茶」の産地形成という視点からも大変重要なことだと考えています。

こうしたことから私は、今後とも、犬打峠のトンネル化実現に向けて、京都府をはじめ関係機関に対し、引き続き強くお願いをしたいと思います。

「学研都市の奥座敷として」

最後に、現在進めている大学や企業など関係機関との連携については、和東町のまちづくりをより進化させ、前進させるため、今後とも、さらに連携を深めていきたいと考えています。

また、現在町内外住民を問わず、多くの関係者でめざしている「茶源郷 和東」についても、今後さらに学研都市の奥座敷として、広く世界に発信し、より広い交流とふれあいを通じて、明日へのまちづくりの活力としていきたいと考えています。そしてこうしたふるさとづくりが、将来きつと世界のふるさとづくりにつながるものと確信し、これからの和東町のまちづくりに全力を傾注してまいりますので、今後とも引き続き皆様方のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

弥勒磨崖仏・遊歩道完成

（遊歩道整備に土地の一部を町へ寄付）

主要地方道木津信楽線沿い（大字白栖小字備中平）にある弥勒磨崖仏は、正安二年（一千三百年）四月の銘があり、「長井の弥勒さん」として親しまれています。また町外からひと目見ようという観光客も多くあることから弥勒磨崖仏周辺の遊歩道の整備を進め、このほどに完成しました。遊歩道整備には、お二人から土地の一部を寄付していただきました。



彌勒磨崖仏



遊歩道の完成で弥勒さんが身近に

ありがとうございます。今後、この遊歩道が観光ルートとして利用され「長井の弥勒さん」がより多くの人に愛されることを願っています。

和東町茶業史つうしん Vol. 5



釜塚の辻市郎さん（昭和11年生まれ）が、昔の茶畑の様子を語ってくれました。

昔の茶畑には、人の背丈ほどもある茶の木がダンゴのように茂っていました。茶の木の背丈は、梯子をかけて摘まねばならないこともあったほど。摘み子さんはその木を数人で囲み、株単位で摘み切るようにして摘みました。摘み残すと渋みが出るからです。また、秋になると茶



和東町釜塚の茶摘み風景

の実を拾いました。拾った実は、麻袋に入れて土中に埋め、2～3月になったら取り出して1週間ほど水に漬けます。芽が出たら、畑に3cmの深さ・4cm間隔ほどで植え、畝間には乾燥よけとして藁を敷きます。こうして実生から育てた自生種の茶の木は、古木を良しとしました。樹齢40年を過ぎるとアクが抜けて美味となり、樹齢100～150年という古木もありました。取材者：和東町観光振興協議会調査員



ご寄附ありがとうございました

「和東町ふるさと応援寄附金基金」へ次のとおりご寄附をいただきました。（平成25年4月）

氏名	住所	寄附金額
藤井 重樹様	東京都文京区	200,000円
木崎 茂様	京都府宇治市	50,000円



ありがとうございました。お寄せいただいた寄附金は、和東町のまちづくりのため有効に活用させていただきます。

ガラス温室が「和豆香グリーンファーム」(愛称)として生まれ変わりました

和東茶カフェ横に並ぶガラス温室では、昨年度から新たな取組が進んでいます。この取り組みは、有機栽培・エコ農法による安心・安全でおいしい野菜を栽培し、農業体験や野菜の販売をはじめ、野菜を利用した加工品販売施設の開設などを通して、地域の活性化を目指すものです。

昨年度は、ガラス温室の改修を行い、水菜の試験栽培が行われました。立派に育った水菜は、和東保育園の園児や和東町社会福祉協議会の行事に参加されたみなさんが収穫され、「とてもおいしい」と好評でした。

今年度から、ガラス温室の愛称を「和豆香グリーンファーム」とし、本格的に野菜が栽培されるとともに、野菜の販売や収穫体験を含むツアーなども行われる予定です。興味をお持ちの人は、和東町地域力推進協議会事務局（和東町地域力推進課内）0774-78-3001(代)までお問い合わせください。



水菜の収穫体験（和東保育園）

春のお楽しみ

わづかほいくえん

四月九日(火)和東保育園では、今年度、はじめてのおさ
んぽで園外に出かけました。

この日は、年長児が年少児の手をつないで歩き、中区
祝橋付近の堤防まで出かけました。

途中、小さな子をいたわりながら歩く年長児や、始め
ての散歩にドキドキした様子の年少児のほほえましい様
子がうかがえま

した。

そして満開に
なった桜の花の
トンネルをくぐ
り「わーきれい」と歓声をあげて
喜び、みんな写
真を撮ったりと
とても楽しい一日
でした。



満開の桜の下で
ハイポーズ ぞうぐみ
(年長児)